K

SD再生(SDカード)

各部の名称とはたらき

タッチパネル部について

SDモード TOP画面(詳細表示時(例))

① **詳細** **ボタン**
トラックの詳細情報を表示します。☞ K–4

② **トラック** **ボタン**
トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。☞ K–4

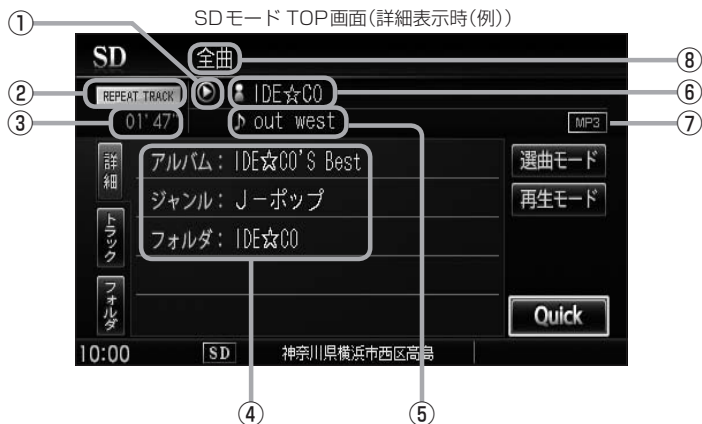
③ **フォルダ** **ボタン**
フォルダリストを表示し、フォルダの選択が可能です。☞ K–4

④ **選曲モード** **ボタン**
選曲モード(全曲／フォルダ)から再生したい曲を絞り込んで検索することができます。
(走行中は機能が制限されます。)
☞ K–6

⑤ **再生モード** **ボタン**
リピート／ランダム／スキャンの選択をすることができます。☞ H–11

⑥ **Quick** **ボタン**
Quick MENUを表示します。
☞ B–23

表示部(再生画面)について

SDモード TOP画面(詳細表示時(例))

① **再生状態表示**

▶：通常再生　▶▶：早送り　◀◀：早戻し

② **リピート／ランダム／スキャン／選択時に表示**

表示内容につきましては、☞ H-11を参照ください。

③ **再生時間表示**

④ **アルバム名表示／ジャンル名表示／フォルダ名表示**

⑤ **トラック名表示**＊1

⑥ **アーティスト名表示**

⑦ **再生ファイル表示**

選択中のファイルを表示します。

MP3 ／ WMA

⑧ **選曲モード**

選択中の選曲モードの内容を表示します。

☞ K-6

アドバイス

- トラック名／フォルダ名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アルバム名／アーティスト名／ジャンル名が記録されていない場合は、"No Title"と表示されます。

  ＊1印…トラック名がない場合はファイル名を表示します。
- タイトル名が表示しきれない場合タイトル名(トラック名／フォルダ名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名)をタッチしてスクロールさせ、確認することができます。

  ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- パネル部に配置されているボタンにつきましては☞ H-2を参照ください。

SDカードを使う(1)

リスト表示より好きなトラックまたはフォルダを選び再生させる

選曲モード(☞K-6)で選択したボタン(全曲／フォルダ)のトラックまたはフォルダをリストより選択再生させることができます。

1 トラック または フォルダ をタッチする。

※すでに表示させたいリスト表示になっている場合は手順 1 を省略することができます。

SDモード TOP画面(詳細表示(例))

■ **トラック をタッチした場合**

：トラックリストが表示されます。

アドバイス

選曲モード(☞K-6)で選択したボタン(全曲／フォルダ)のトラックリスト表示となります。

■ **フォルダ をタッチした場合**

：フォルダリストが表示されます。

アドバイス

選曲モード(☞K-6)でフォルダを選択した場合は、選択したフォルダのトラックリストが表示されます。

アドバイス

TOP画面は選択する 詳細 ／ トラック ／ フォルダ によって詳細表示／トラックリスト表示／フォルダ表示となります

トラック タッチ

詳細 タッチ

詳細情報表示

トラックリスト表示

フォルダ タッチ

フォルダ タッチ

詳細 タッチ

トラック タッチ

フォルダリスト表示

再生させたいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

SDモード TOP画面
（トラックリスト表示時(例)）

アドバイス

- TOP画面を詳細表示に戻したい場合は **詳細** をタッチしてください。（☞ K–4アドバイスを参照）
- ⏮ ⏭ ／ ⏮ ⏭ 押してトラックを選択することもできます。☞ H–9

SDカードを使う(2)

選曲モードより選択し再生させる

聞きたい曲を選曲モードから絞り込んで検索できるので便利です。

1 選曲モード をタッチする。

：画面右側に選曲モード画面が表示されます。

TOP画面(詳細表示時(例))

2 選曲モードより選曲する方法
(全曲 ／ フォルダ)を選択する。

選曲モード

アドバイス

走行中の操作制限について

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作に制限がかかります。
- 停車中は選曲モードのトラックリストよりトラックを選んだ時点で、再生が切り替わります。
- 走行中は選曲モードが確定した時点で再生を開始します。
（トラックリスト等の表示はされません。）

トラックリスト画面(例)

- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストがグレーアウトする場合があります。

- SDカードに収録されている曲数が多くなるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- 選曲モードを選択する前に 閉じる をタッチするとTOP画面に戻ります。

■ 全曲 をタッチした場合

：トラックリストが表示されます。

① **再生させたいトラックをタッチする。**

：選択した曲を再生します。

トラックリスト画面(例)

トラックリスト

■ フォルダ をタッチした場合

：フォルダリストが表示されます。

① **再生させたいフォルダをタッチする。**

：選択したフォルダに収録されているトラックリストが表示されます。

フォルダリスト画面

フォルダリスト

② **再生させたいトラックをタッチする。**

：選択した曲を再生します。

トラックリスト画面

トラックリスト

3 **設定を終えるには、 戻る または 閉じる をタッチする。**

： 戻る をタッチすると1つ前の画面に戻り、 閉じる をタッチするとTOP画面に戻ります。

SD再生 〔選曲モード(全曲・フォルダ)〕

SDカードの音楽再生について

パソコンからSDカードにMP3／WMA形式で保存された音楽データを本機で再生することができます。

- SDロゴは商標です。
- SDHCロゴは商標です。
- MP3／WMAは音声圧縮フォーマットです。
  ※MP3／WMAの説明につきましては☞I-6を参照ください。
- SDカードに記録されている音楽データを本機で編集することはできません。
- 32GBまでの容量のSDカードに対応しています。
- 本機はclass2、class4、class6のSDHCカードに対応しています。
- 本機はSDXCカードには対応していません。
  - ・SDカードの初期化は本機で行なってください。
  - ・SDモードで音楽再生中にSDカードを抜かないでください。
    SDモードを終了(OFF状態に)させてから抜いてください。
  - ・miniSDカード／microSDカードを使用する場合は必ずminiSDカードアダプター／microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に挿入すると、機器に不具合が生じることがあります。また、“miniSDカード”／“microSDカード”が取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き差しし、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。
  - ・miniSDカード／microSDカードをminiSDカードアダプター／microSDアダプターでご使用の際は、正常に動作しない場合があります。
  - ・microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。
  - ・本機で再生する音楽データを含めたSDカード内のデータは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはSDカードの保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。
  - ・長時間使用しないときは本機から取り出してください。
  - ・ゴミやほこり、そりなどをさけるため、必ずケースに入れて保管してください。
  - ・端子部には手や金属などで触れないでください。
  - ・強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
  - ・分解したり、改造したりしないでください。
  - ・水にぬらさないでください。
  - ・以下のような場所でのご使用や保存はしないでください。
    - ・使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど)
    - ・湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- **再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて**
  MP3／WMAにつきましては☞I-6を参照ください。
  ※32kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
  ※64kbps以下のビットレートで作成されたMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

● 操作可能な機能と対応可能なSDカードの組み合わせは以下のとおりとなります。

機　能		SDカード（2GB以下）	SDHCカード（4GB以上）	miniSDカード（アダプター必要）	microSDカード（アダプター必要）
地点登録＊1 F-40		○	○	○	○
エコ運転診断＊2 E-2		○	○	○	○
音楽データの再生	MP3	○	○	○	○
	WMA	○	○	○	○

＊1印…指定Webサイトからダウンロードした地点を確認したり、保存したルートを本機で読み出し、ルート探索することができます。また、SDカードに保存した地点を本機に登録することもできます。

＊2印…SDカードにエコ運転度、エコストアを保存することができます。

● MP3／WMAの再生について

・ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。

・m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。

・極端にファイルサイズの大きいファイル、極端にファイルサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。

・Windows Media Player以外で作成したWMAファイルを再生させた場合、再生、表示等が正常に行われない場合があります。

・WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応しておりません。

・2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。

・最大フォルダ階層：8階層／1メディア内の最大ファイル数10000／フォルダ内の最大ファイル数：255(ファイル＋フォルダ)／最大フォルダ数：200となります。

・選曲モード(K-6)のフォルダやトラックリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。

※正しい順番で表示させるには、ファイルの先頭に“01～99”など番号を付けてフォルダに入れ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。
メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。

・著作権保護されたWMAは再生できません。

● ファイル名について

・MP3／WMAと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“mp3”／WMAの拡張子“wma”が付いたものだけです。

※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。

※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。

・表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。

・フォルダ名＋ファイル名の合計文字数が半角256文字、全角128文字を超える場合、再生できません。

● ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

・ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字です。

・ID3タグバージョン2.xの表示可能文字数は半角64文字です。

・ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。

・本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはトラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名です。

※WMAタグの表示可能文字数は半角64、全角32文字です。